

# 小1プロブレム解消のための指導方法等の工夫について

下関市立豊浦小学校

## 学習環境の整備

幼児期からの学びと育ちを生かす活動や環境を意図的に設定し、子どもが自信や意欲をもって活動し自己発揮できるようにする。

### 具体的な取組の内容(1)



○5月、1年生がまだ、入学して1か月しか経っていない頃、園児と学校探検をした。途中で、給食室を案内した。

○6月には、園児を本校の「教育の森アスレチック」に招待した。1年生が、手を引いて遊びをリードした。



### 成果

- ・給食室を見学して、驚きや発見を話題にすることで、学校給食への関心をもたせ不安を軽減することができた。
- ・1年生と年長児がペアになって、屋外遊具を使用することで、1年生も安全のためのルールを再確認することができた。

### 具体的な取組の内容(2)



○9月、園の作品展に招待していただいた。作品の説明を園児から受けながら、鑑賞して回った。

○11月、今度は1年生が、園児を招待し、自分達が工夫して作ったおもちゃで遊ぶ時間を設けた。



### 成果

- ・異年齢の交流は、園児、児童双方にとって、成長のチャンスとなった。
- ・園児の作品を見て感じた良さを、自分達の作品づくりに生かそうとする姿勢が1年生に見られた。また、園児を「秋のおまつり」に招待した時には、説明を丁寧に行い、相手の立場を考えて行動することができていた。